

3・3・1号 中和幹線等

都市計画変更説明会

1. 中和幹線、高田バイパス線の変更



2. 穴虫田尻線、二上田尻線の変更



3. 香芝総合公園、用途地域、高度地区の変更



4. 都市計画変更の手続きについて

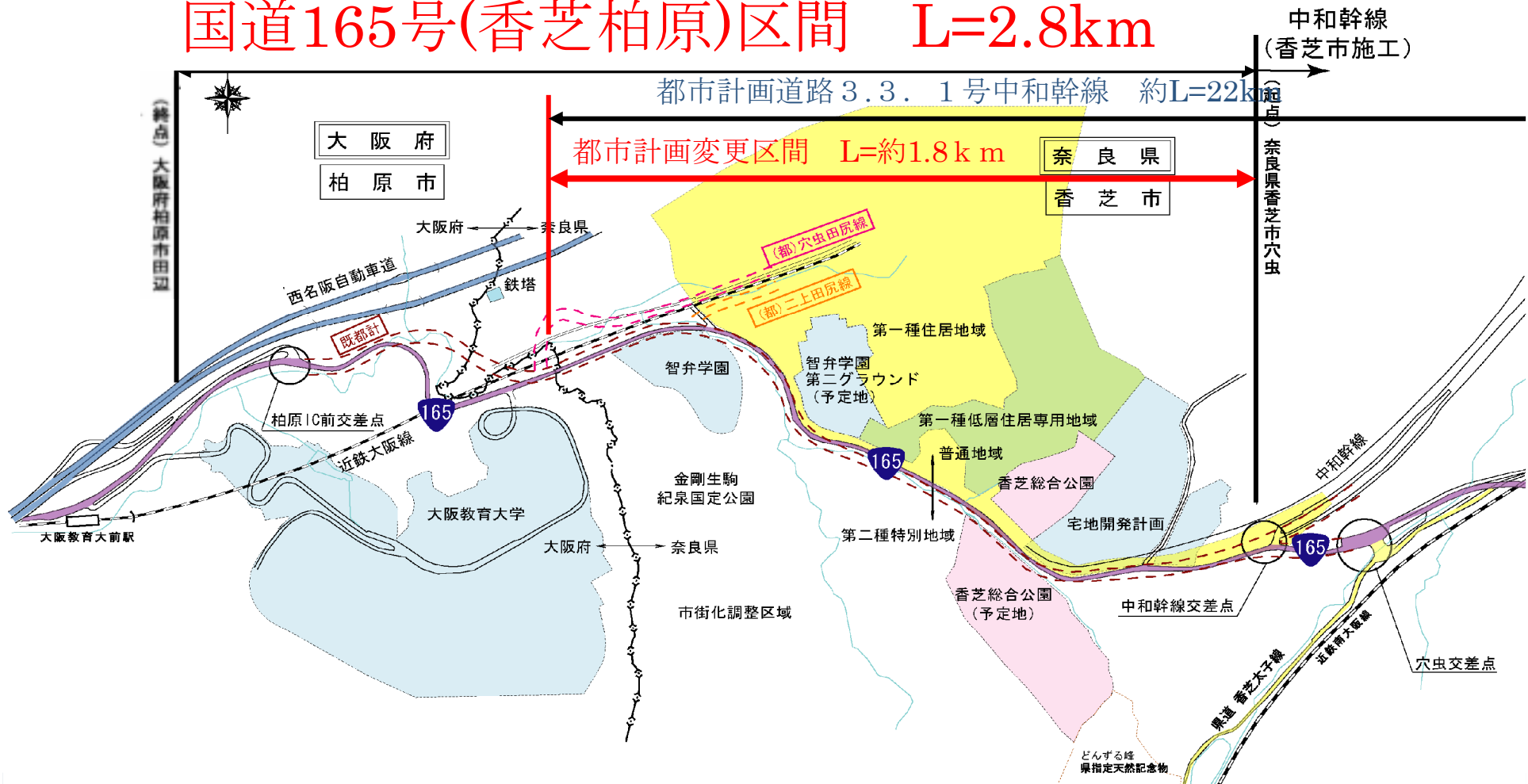
■ 3・3・1 中和幹線

■ 3・2・4 高田バイパス線

1. 3・3・1号 中和幹線の概要



国道165号(香芝柏原)区間 L=2.8km



2 これまでの経緯

(3・3・1号 中和幹線)

昭和40年	香芝中央線として都市計画決定
昭和48年	『中和幹線』と名称変更
平成15年	車線数を決定(4車線)



今回の都市計画変更内容

- ①平面線形の変更
- ②道路構造令に準じた幅員構成の変更

3. 国道165号の現状

3.1 交通渋滞の発生

3.2 急カーブ急勾配の箇所が多く、
また事故が多発

3.3 異常気象時の通行規制

3.1 交通渋滞の発生

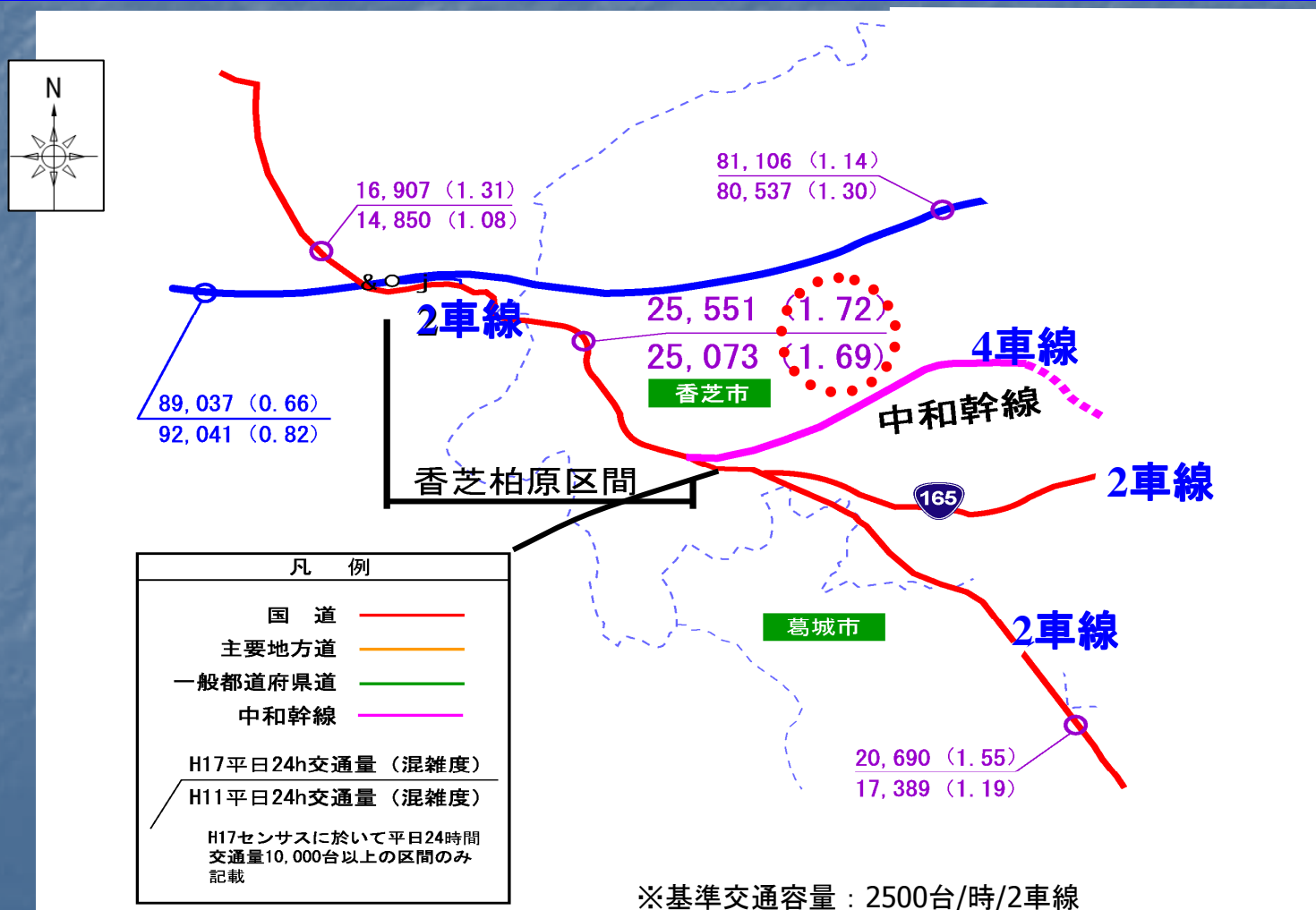
各交差点等で渋滞が発生。
特に柏原IC前交差点で最大渋滞長 L=1,100m (大阪方面行き)



※平成17年2月10日 (木) 調査

3.1 交通渋滞の発生

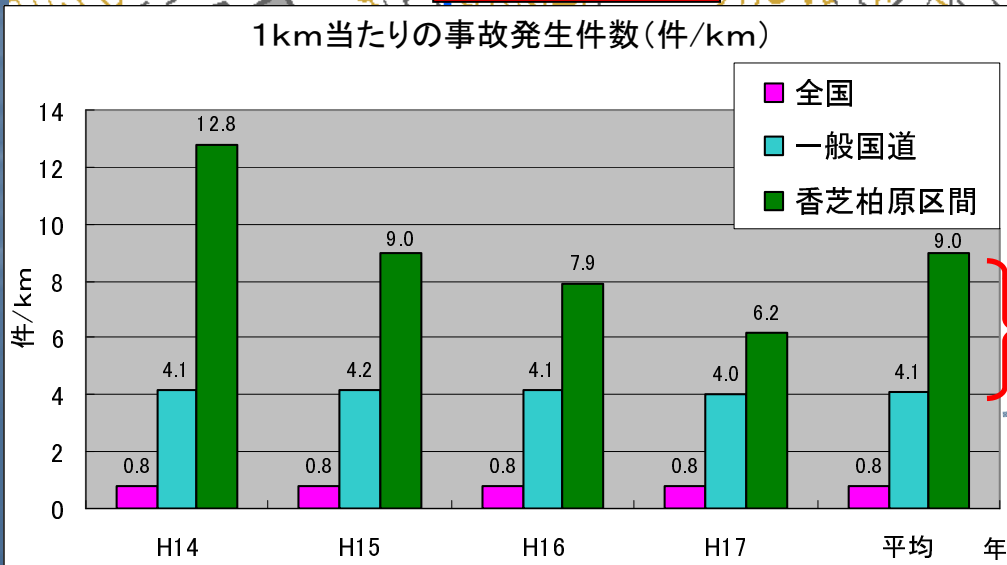
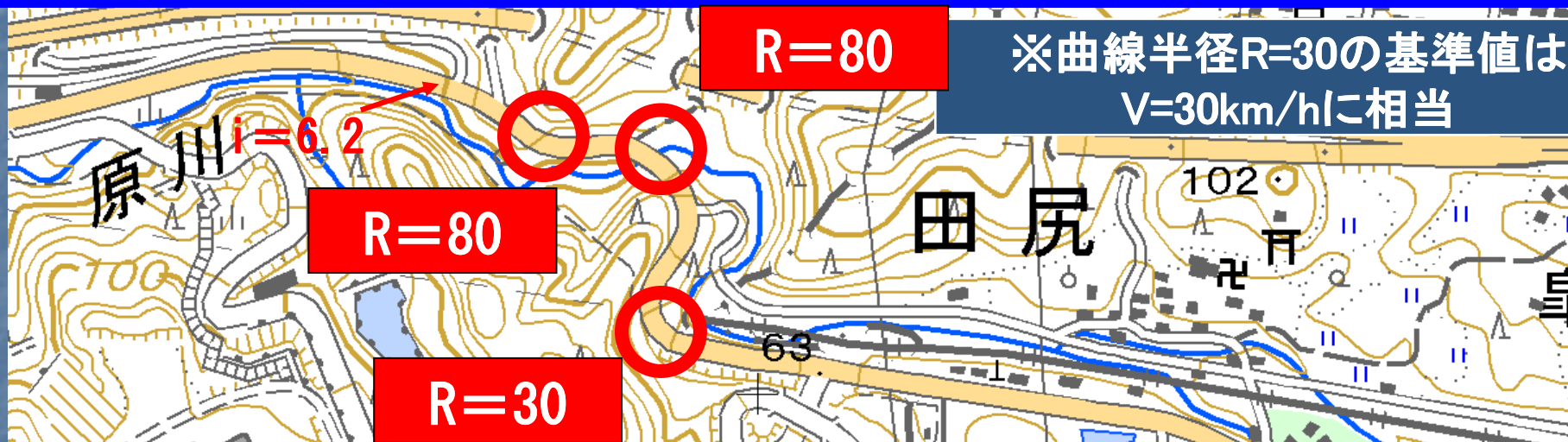
・平成11年センサスと平成17年センサスを比べると、国道165号の交通量は増加傾向にあり、香芝柏原区間では容量超過の状態。(混雑度:1.72, 他の道路に比べ高い)



3.2 急カーブ急勾配が多く、また事故が多発



当該区間の現道には急カーブ、急勾配箇所が多く存在します。
 (R<30:1箇所 R<80:2箇所 R<90:1箇所 i=6.2%:1箇所)



全国平均
約2倍



3.3 異常気象時の通行規制

異常気象時通行規制区間(連続雨量200mm以上)が存在します。

L=700m



4 整備効果

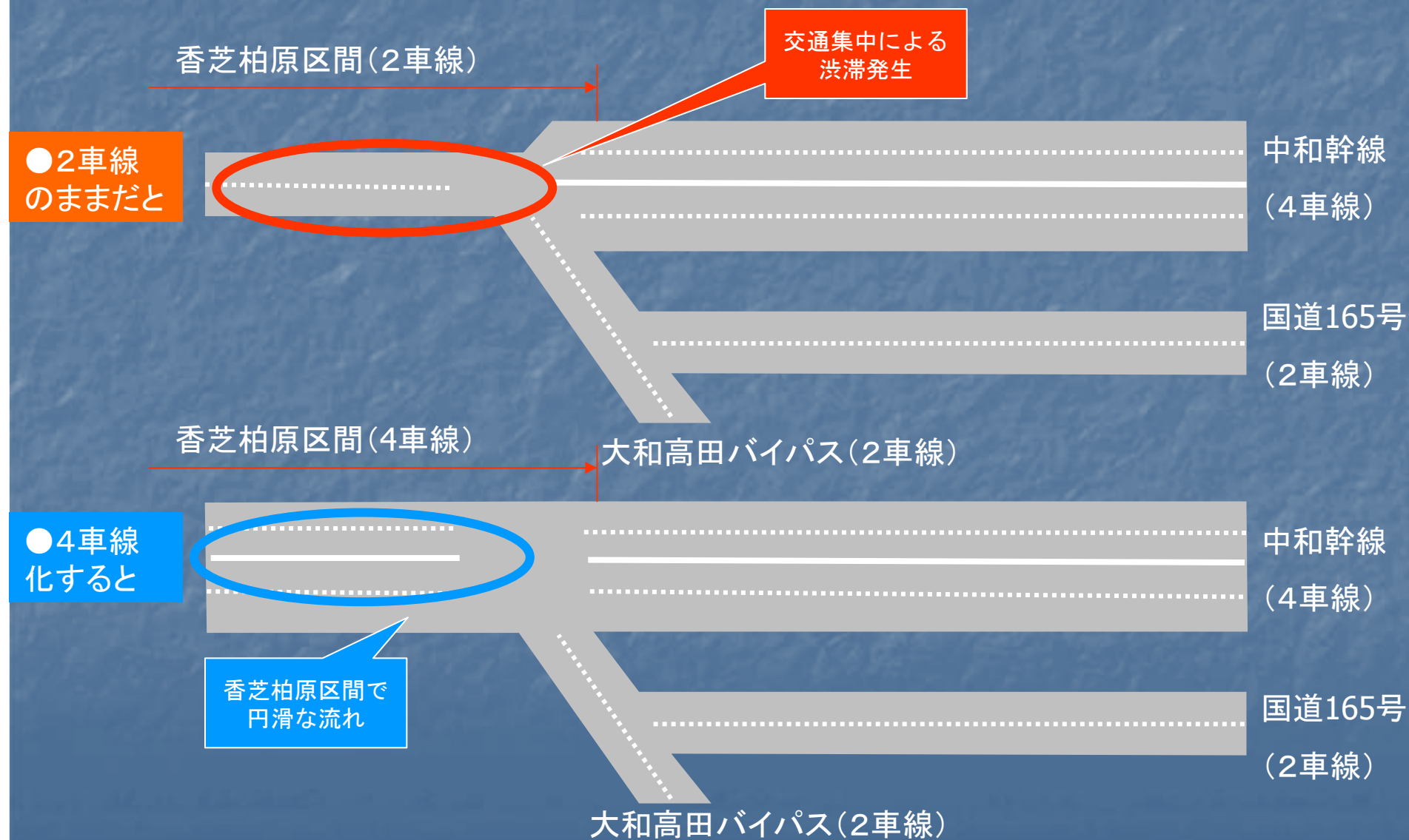
4.1 交通渋滞の緩和

4.2 交通安全の確保

4.3 異常気象時通行規制区間の解消

4.1 交通渋滞の緩和

・交通量に応じ必要な車線数の確保や交差点形状の見直しにより交通の円滑化が図れます。



4.2 交通安全の確保

渋滞緩和及び道路線形を改良することにより、事故件数の低減が期待され安全性が向上します。



4.3 異常気象時通行規制区間の解消

異常気象時通行規制区間の解消により、雨天時も安全と安心を確保します。



5 変更区間の概要

◆区間及び延長

- ・区間:(自)奈良県香芝市穴虫～(至)奈良県香芝市田尻
- ・延長:約1,780m

◆道路区分と設計速度

- ・第3種第2級 60km/h

◆計画交通量

- ・約27,200～28,400台/日

◆車線数・車線幅及び標準幅員

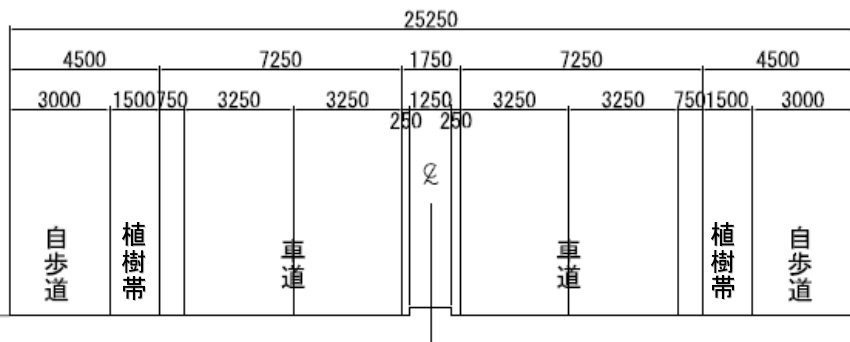
- ・車線数 :4車線
- ・車線幅 :1車線あたり3.25m
- ・標準幅員:約19.75m～25.25m

◆最小曲線半径

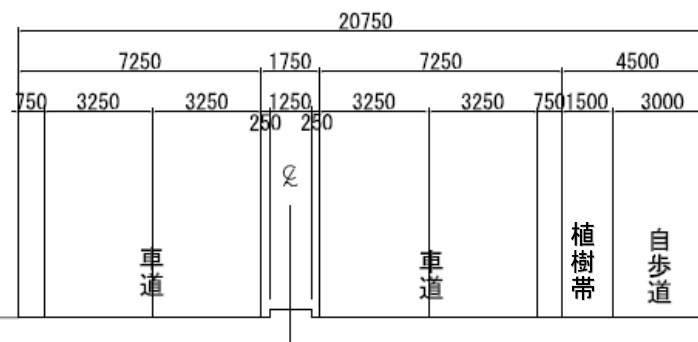
- ・R=150m

5. 変更区間の概要

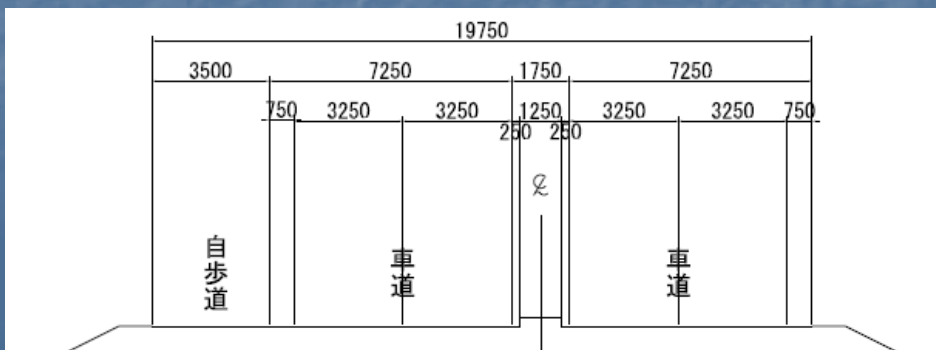
両側自歩道・両側植樹帯あり



片側自歩道・片側植樹帯あり



片側自歩道・植樹帯なし



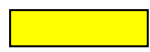
5. 変更区間の概要



○道路交差形状の状況

主な交差道路	既都計の接続状況	今回変更による接続形状
① (都)高田バイパス線	立体	平面交差
② (市)4-95 号線	平面	平面交差
③ (都)二上田尻線	平面	-
④ (都)穴虫田尻線	平面(近鉄直上)	-
⑤ (都)穴虫田尻線	-	平面交差

凡 例



既都計範囲



今回の既都計区域

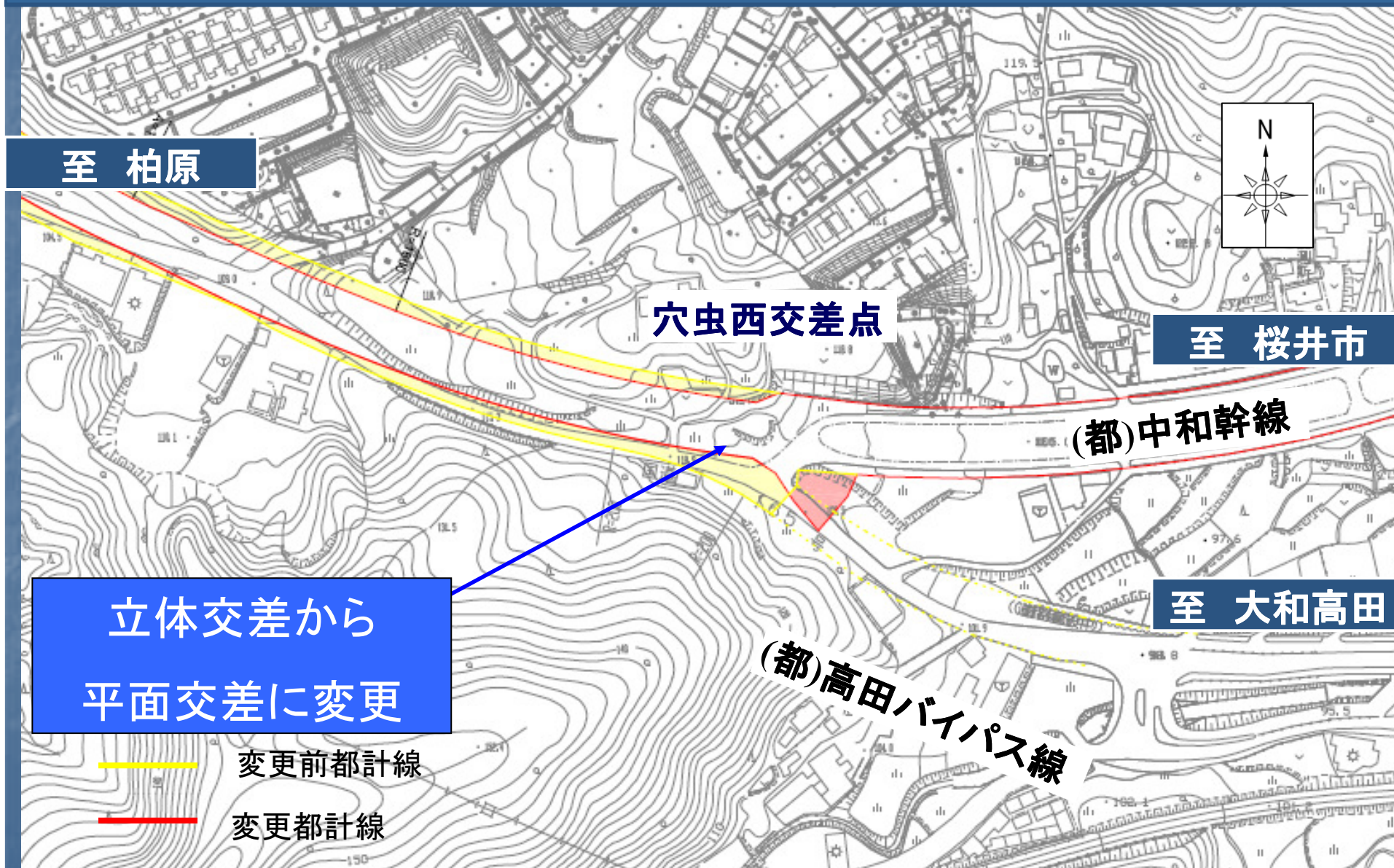
6 都市計画変更の内容について

■1.交通量見直しにより交差点を立体から平面交差に変更

■2.平面線形の見直し

■3.道路構造令に準じた構造の見直し

6.1 交通量見直しにより交差点を立体から平面交差に変更により幅員の減少



6.3 線形の見直し



6.4 幅員構成の変更

道路区分	既都計	今回変更案
車線	3.25m	3.25m
路肩	0.5m	0.75m
中央帯	1.0m	1.75m
自転車歩行者道	1.5m	3.0m
植樹帯	-	1.5m

変更前

変更後

